

イースター・召天者記念会

生活支援課 日高 陵

4月28日に、イースター・召天者記念会が行われました。施設長の挨拶から始まった今年度のイースターは、プロジェクターによる映像と音楽とで行われました。途中、写真が切り替わる度に、「あ、正さんや!」「あっく美子さん」と口々に声上がる光景は、とても印象的でした。どなたも、悲しそうな表情はひとつもされず、まるで昔を懐かしむように穏やかな表情でした。

利用者・職員一同、召天された方々の顔を思い浮かべながら、讚美歌を歌わせて頂きました。川越理事長のお話しを、真剣に聞かれました。職員からは、召天者の方々の思わぬ一面についての思い出話も紹介されました。今年のイースターも亡き方々を惜しむばかりではなく、その方々を懐かしみ、思い出す素晴らしい機会でもあると、改めて感じる事ができました。皆様も、時々で良いので大切な方を思い出してみてもはいかがでしょうか?



ゴールデンウィークの余暇時間

生活支援員 ほしざき 悠成 星崎

5月3日、4日、5日と催し物がありました。3日は和太鼓演奏、4日は舞踊、5日はカラオケ大会が行われました。雷龍(いなずま)和太鼓の演奏では、谷口職員も太鼓を叩き迫力のある演奏に利用者の皆様も笑顔になられました。利用者も何名かが太鼓を実際に叩かれ、貴重な体験ができたと思います。4日の舞踊では、舞踊団体の方が来られ、踊りを披露されました。利用者の皆様も、体を揺らしたり、手拍子をされ楽しまれました。5日のカラオケ大会では、「この曲歌う!」や「この曲歌いたい!」と積極的に参加されました。

この3日間の活動は、普段の活動班の中では、なかなか体験の出来ない事だったので、利用者の皆様の新鮮な反応を私達職員も見る事ができ楽しく感じました。これからの活動でも、アイデアを出し、少しでもエデンの園での生活を楽しんで頂けたら良いなと、感じました。



スポーツレクリエーション

生活支援課 いおりざき 梢 庵崎

5月18日には第39回スポーツレクリエーションが開催されました。オリーブ班の利用者による開会の言葉の後、リズム体操等を元気よく行い、活気のある開会式となりました。今年の競技内容はファミリー活動班対抗でのボール運びリレー、玉入れ、ダンボール積みゲームとなっており、どの競技も職員と利用者が一緒に闘志を燃やしながら一生懸命取り組む姿が見られました。見ている側も自然と「がんばれー!」「行け行けー!」と一生懸命になって応援し大変盛り上がりのあるスポーツレクリエーションとなりました。

また、新任職員出し物では、笑顔で手拍子をしながら新任の皆様を歓迎する様子や面白い場面では声を上げて笑う利用者の姿も見られるなど、穏やかな時間となりました。最後に閉会式の表彰の場面では、各賞ごとに自分の班の名前が呼ばれるのをまだかまだかと待ち遠しく聞かれ、自分の班の名前が呼ばれた時には「いえーい!」と手をあげ、班のメンバーと喜び合いました。職員や利用者と共に身体を動かしたことで普段では感じられない気持ちのいい汗をたくさん流し、良いリフレッシュになったのではないかと思います!

上棟式 ～せんぐ撒き

生活支援員 寺田 法子

エデンの園では、今秋開設する地域福祉センター（放課後等デイサービス）と、新たなグループホームの2棟を現在森永バス停前に建設中です。

6月1日は、その上棟式が執り行われました。海老原牧師をお迎えし建設関係者と川越理事長をはじめ、施設職員など20名によって行われました。式を終えると、多くの地域住人が集まって下さり、賑やかな雰囲気に包まれていました。せんぐの餅は、前日、理事長、宇都宮局長、五島支援員が一日掛かりで手作りされたもので、丁寧にラッピングされとても素敵なものでした。17時、角餅が順に投げられ、せんぐ撒き開始！「こっちに投げてー！」子ども達の元気な声に、大人も手を上に伸ばして必死にアピールする姿など、皆が笑顔でせんぐ拾いを楽しんでおられました。もちろん、屋上に乗ってせんぐを撒いていた私も、童心に返ったようにワクワクと楽しい気持ちになりました。沢山の方々の協力の下、笑顔と手作り感あふれる式となり、この場をおかりして感謝申し上げます。

最後に、「楽しい場所には人が集まってくる。」私は、このように考えています。

まずは、障害を持つ人が「地域の中で安心できる居場所」を作り、「地域の一員として共生できる場所や仕組み」作り挑戦していきます。それには、様々な摩擦が生じるかと思いますが、利用者やご家族と共に成長していきたいです。

司式中の海老原牧師



たくさんの方が集まって下さいました

小八重 幹夫さんを偲んで

生活支援員 たにくち ひろたか
谷口 博孝

昭和26年5月25日、戦後からようやく日本という国が立ち上がり、日本の人々が自分達の手と汗と涙で、前へ進み始めている時代に小八重幹夫さんはお生まれになりました。そして、様々な道を歩いてこられ縁あって、平成12年からエデンの園での生活が始まりました。

私が小八重さんと出会ったのは今から5年前の平成23年でした。そして、担当職員として関わったのは平成24年度、平成27年度、平成28年度でした。この間、色々な思い出があります。一緒に参加した大分旅行や温泉や外食を楽しんだ体験デイなどです。外出されるのをとても楽しみにされていて、旅行や体験デイの日程を伝えたときのとても嬉しそうな笑顔は今でも目に焼きついています。しかし、一番の思い出は、ジュースを片手に居室で楽しく会話をする時間でした。大好きなラジオから得た情報を私に時は真剣な顔で、時には笑顔で話してくださるあの時間は私にとって、とても心の癒される時間でした。小八重さん、沢山の思い出をありがとうございました。あなたから、教えたいただいたことを大切にし、エデンの園職員としても一人の人間としても成長していきます。

お疲れ様でした

生活支援員 なべくら みほ
鍋倉 美保

この度、エデンの園を退職することになりました。2年3ヶ月という短い間でしたが、本当に貴重な体験ができ、たくさん勉強させていただきました。この2年3ヶ月は、私の人生の大きな存在となりました。書ききれない程たくさん思い出ができ、「ふれあい」の仲間として、一緒に働かせていただいた感謝は忘れません。短い間でしたが、本当に有り難うございました。

